



夢はオリンピック——。 ボート競技U-19日本代表候補



ボート競技者
岡山 凜之さん(田窪)
Rinski Okayama

キラリ東温この人なう No.79

輝く人にインタビュー

ボート競技においては決して恵まれた環境にない松山東高校。それでも岡山凜之さんはボート競技をするために松山東高校への入学を決めた。「アウトドアが好きで、水上でのレースが自分の感覚に合っている」と感じ、初めから日本一になる目標と「いける」という根拠のない自信を持っていったという。平日は学校でウェイトや体幹トレーニングをこなし、乗艇できるのは土日だけ。エルゴと呼ばれる漕力を養う器具から出る風切音が、トレーニングの過酷さを物語っていた。「ボートは一つの動きを極めるスポーツ。オールを水中に入れるタイミングや上体を起こすタイミングを身体に染み込ませます。腕ではなく実は足が一番のポイント。大きなエンジンになります」。

破竹の勢いで3月の日本代表選考レースを総合1位、全国選抜レースを制覇した。「インターハイ、国体も優勝して3冠を獲りたい。そしてオリンピックでメダルを取るのが夢です」。東温市初のオリンピック誕生に期待が膨らむ。

編集後記

キラリで取材した岡山さん。自信の裏側には絶え間ない努力と競技への真摯に向き合う姿勢がありました。紙面には載せきれませんでした。紙面には載せきれませんでした。顧問の白川先生へも感謝を伝えていきます。オリンピック出場したら現地まで取材行かせてください。(小出)

6月が過ぎ、イベントや行事が少しずつ増えてきました。まちが活気に溢れると嬉しい気持ちになります。たくさんの方との出会いを大切にして、笑顔をお返しすることなく撮り収めたいと思います。(和田)

目次 Contents

- 02_特集 星の郷 HOSHINOSATO /
- 08_スイッチとうおん / 12_子育てガイド / 14_ふれあい広場 / 18_情報BOX / 19_新型コロナウイルスワクチン接種情報 / 25_山瀬理恵子のアス飯 / 26_暮らしのカレンダー / 28_キラリ東温この人なう